

物事は多面的です。人の能力もどの角度から見るかで変わってきます。学校の教育活動も同じです。ジブラルタル生命の教員アンケートです。何の行事を楽しみにしているか、というものです。卒業式、運動会など教員が楽しみにしている行事が並びます。また右上は朝日新聞社の教員アンケートです。教員多忙の原因は何かというものです。行事などの授業以外の活動が教員を多忙にしている、という意見が多いアンケート結果です。視点の角度が違えば、見えてくるものも違います。

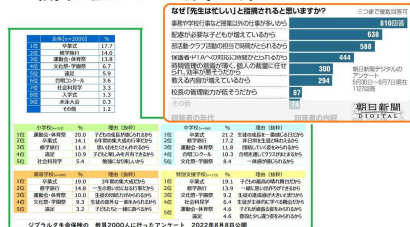
次に共同学習やグループ活動へのアンケート結果です。学研が1200人の小中学生にアンケートを取っています。グループ学習については中一男子が28%で好き嫌いが同じになっています。全体としては47%半数近くがグループ学習を好んでいます。逆に中一女子は6%がグループ学習をかなり嫌い、苦しいとの反応が出ています。ADHD、自閉的傾向、場面緘黙などの兆候がある子供の大半がグループ学習を苦しいと感じている結果もあります。グループ学習は半数近くが好むという結果を見るのか、支援が必要な生徒が大部分苦しいという結果を見るのかで違ってくると思います。

またこれは全国学力調査と並行して取られた文科省のアンケートです。

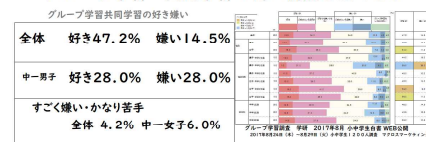
学校に行くのが楽しいと思う子供がこれだけいるのか、とみるのか。学校が楽しいと思える子供が年々減ってきている、何故だろうとみるのかで違ってきますね。これは学校行事における新聞社のアンケートです。

これも修学旅行は半数くらい現状維持を求めている、とみるのか旅行以外の行事ではどれも八

教員が望んでいる行事は何か

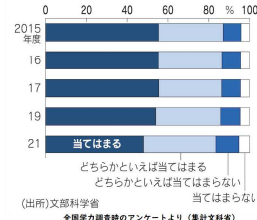


グループ学習・共同学習の何に視点を当てるか



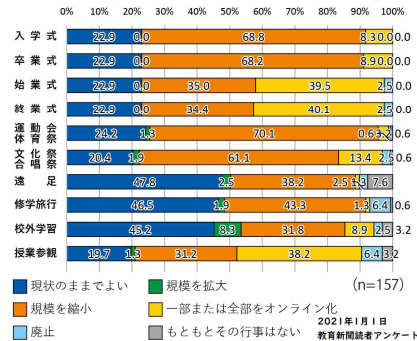
教室に入るのが苦しいADHDの生徒
76%が共同学習が苦しい・苦手

学校に行くのが楽しいと思う小6の割合



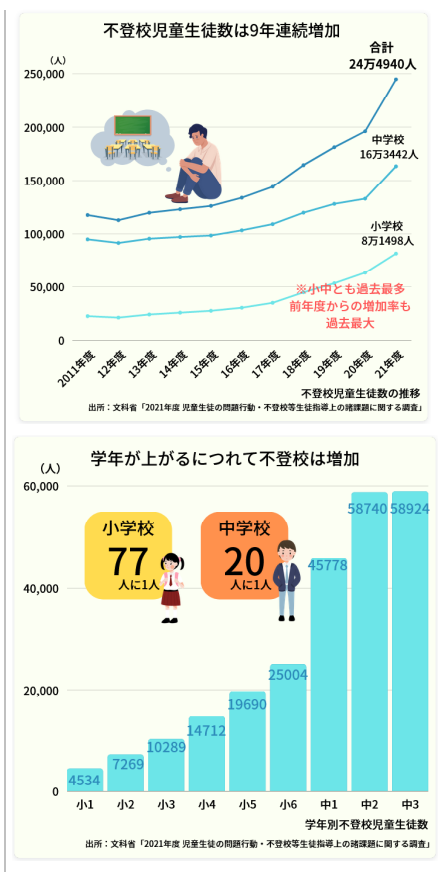
どちらかといえば当てはまる
どちらかといえば当てはまらない
(出所)文部科学省 当てはまる 当てはまらない
全国学力調査時のアンケートより(集計文科省)

以下の学校行事を、自分の学校や地域で見直すべきだと思いますか。



割くらい廃止や規模縮小を求めている、とみるのかで違ってきますね。

私は特支学校や通級学級を担当して集めた資料を提示することが多いです。全体を見る視点も大事ですが、支援が必要な生徒から見た、という視点が必要になってきていると思います。



END